

令和6年度 小松市立 国府小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<児童にとって安心な学級づくり、学校づくりを推進する>		
	<p>【学級づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の4つの視点をもとに研究部と連携し授業づくりを推進する。特に、「国府っ子学習のきまり」をもとに授業規律を徹底し、安心して学習できる雰囲気をつくる。 ・また、「やかたシート」により学級目標の設定とふり返りを継続的に行い、年間を通して学級目標に迫る。 ・仲間づくり(KOKIUFUトーク)の取組を行い、教師と児童・児童と児童をつなげるリレーションづくりを学期始めに行う。 <p>【学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間6回のたてわり遊び等の異学年交流を通して高学年のリーダー性を育むと共に、より良い活動をするために考え工夫できる機会とする。 ・企画運営委員会を中心に、学校をよくしようという思いを全校で共有し、仲間のよさを認め合う場（学期に1回のやかたミーティング）を設ける。 		
特別支援教育	<支援を必要とする児童に対して組織的な支援を図る>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期1回（6月、10月、2月）に特別支援教育校内支援委員会全体会を行い、実態把握・指導支援についての検討及び共通理解を行う。 ・個別の教育支援計画を作成しなければならない児童には、担任が保護者と懇談の機会を持ち、作成する。（1学期前半）また、2学期末以降、年度内に次年度の目標について再び保護者と担任とで話し合い、方向性を決めておき、次年度に申し送る。 ・外部機関とも連携を取り支援を検討する。 		
道徳教育	<発達段階に応じた道徳教育を推進する>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマップをもとに、発達段階を考慮して、重点目標と各教科、特別活動を関連させて道徳教育を行う。 ・授業公開や道徳ファミリートークの機会を設定し、家庭・地域との連携を図る。 		
（キャリア教育） 読書教育	<読書量を確保し、読書の質的な向上を図る>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書担当と図書館司書が連携を図り、読書オリンピックや多読者表彰、図書委員会主催の取組を行い、読書の量的・質的な向上を図る。 ・「本のとびら」から選定した各学年の課題図書4冊を1年間で読了する「読む4」の取組を行い、各学期末毎に学級担任と図書担当が読了状況を確認する。 		
保健健康教育	<心身の健康や運動に関心をもち、健康への意識向上を図る>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導や保健委員会の活動を通して、感染症予防や健康な体づくりに取り組む。 ・学校保健委員会を通して育友会と連携し、親子が心身の健康についてともに学ぶ機会を作る。 ・持久走記録会を中心に、「持久力アップ大作戦」として年間を通して運動する機会を作り、体力の向上を図る。 		
情報教育	<ICTの効果的な活用を図る>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教師はICT活用の意図を明確にして授業をデザインすることができるように、「GIGA校内研修年間計画」に基づき授業実践や研修を積み重ね研鑽に努める。 ・児童は学習の目標達成のためにICTを活用し、自分の学び方を選んだり、友達と考えを交流したりし、自らの学びの質を向上することができるようになる。 		
家庭・地域との連携	<家庭・地域の力を生かした教育活動の推進>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域の力を生かした活動を教育課程に位置づける。 ・学習目標を明確にし、地域の自然や文化について学ぶ機会を設ける。 		

学校関係者評価	
---------	--